北方領土交涉史

著 鈴木美勝

180781179 遠藤幹也

目次

- 1.北方領土問題とは
- 2.日本の主張
- 3.ロシアの主張
- 4.結論

北方領土問題とは

- a)日本とロシアの間で現在起こっている領土問題
- b)北方四島の面積は5000km²(=福岡)
- c)北方四島の領有をお互い主張
 - →四島(歯舞群島・色丹島・国後島・ 択捉島)



北方領土問題とは

- a)1945年8月9日、日ソ中立条約に違反したロシアが侵攻を開始
- b)ポツダム宣言を受諾後、同年8月28~9月5日で北方四島を占領



日本の降伏宣言のどさくさに紛れて侵攻



日本の主張

- (A)歷史的事実
- a)北方領土にはかつて外国人が定住した事実は皆無
- b)江戸幕府の直轄地として日本人が開拓
- c) 1855年の日魯通好条約では得撫島(うるっぷ)と択捉島の間を国境に設定
- d)1875年の樺太千島交換条約では得撫から占守に至る18の島を獲得



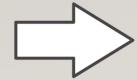
日本の主張

- B)国際法上の根拠
- a)ポツダム宣言には、領土不拡大の原則が明記



> 法的効果を持つ国際的取り決めは皆無

b)サンフランシスコ平和条約では、千島列島への領有権放棄



北方領土は千島列島には含まれず、米国政府も支持



A)ヤルタ協定

ヤルタ協定

3 千島列島がソヴィエト連邦に引き渡されること。

前記の外蒙古並びに港及び鉄道に関する協定は、蒋介石大元帥の同意を必要とするものとする。 大統領は、この同意を得るため、スターリン大元帥の勧告に基づき措置を執るものとする。

三大国の首脳はこれらのソヴィエト連邦の要求が日本国が敗北した後に確実に満たされるべき ことを合意した。

ソヴィエト連邦は、中国を日本国のきはんから解放する目的をもって自国の軍隊により中国を 援助するため、ソヴィエト社会主義共和国連邦と中国との間の友好同盟条約を中国政府と締結す る用意があることを表明する。

1945年2月11日

N・スターリン フランクリン・D・ルーズヴェルト ウィストン・S・チャーチル

[備考]本協定は1946年2月までに秘密にされていた。

- a) 1945年2月4~11日かけて行われた秘密協定
- b)米英ソが第二次世界大戦の戦後処理のために開いた会合
- c)ヤルタ協定の全貌が明らかになったのは1946年2月11日



| 主張としては不十分



- B)GHQの決定事項
- a) 敗戦後、日本を実効支配していたのはGHQ
- b)GHQからの命令(SCAPIN-677)に、日本の行政権の行使を明記



- C) サンフランシスコ講和条約で放棄
- a)千島列島+樺太の一部+近接する諸島の権利放棄
- 日本はこの条文が入った条約に署名
- b)ロシアはこれを基に北方領土の領有権を主張
- □ この条文に記載されているのは『千島列島』

c) 当時の日本政府は千島列島に北方領土が含まれていると認識

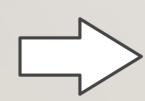


1951年11月

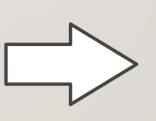
4年後

1956年2月











結論

- a)日本の主張は歴史的に見れば整合性があり、正当
- ただし、サンフランシスコ条約の件は不透明
- b)ロシアの主張はこじつけが多く、不透明
- 世界的に見てもロシア側の支持は少数
- c)北方領土問題はお互いが多くの領土が欲しいため水平線

参考資料

- 1.北方領土問題とは? | 外務省 (mofa.go.jp)
- 2. 北方領土問題 北方対策本部 内閣府 (cao.go.jp)
- 3.<u>北方領土問題とは、そもそも何?わかりやすく解説【今さら聞けない】</u> <u>ハフポスト (huffingtonpost.jp)</u>